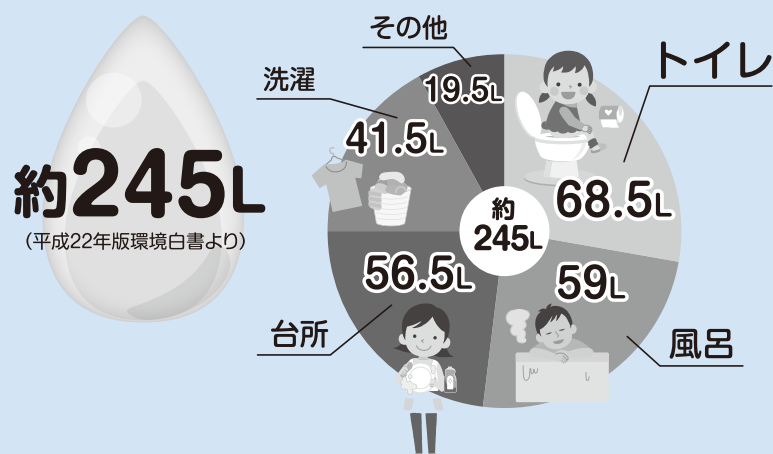


全国で発生しており、これら自然災害への備えの重要性が再確認されているため、日常的に施設の点検整備を行っています。

同時に、小規模な改修・修繕を実施することで施設の新築・更新の際の費用を抑え施設の長寿命化を図りながら、地域の実情に応じた効率的施設管理を目指します。

私たちが1日に使う水ってどれくらい？



台所から出る汚れは、こんなに川や海を汚しています！

汚れのもと(種類)と捨てる量	米のとぎ汁 2L	マヨネーズ 10mL	牛乳 200mL	使用済みの油 500mL
おおよそのBOD	3,000	12,000	78,000	1,000,000
魚が住める水質にするために必要な水の量(浴槽1杯=300L)	浴槽4杯分	浴槽8杯分	浴槽10杯分	浴槽330杯分
魚の住める水質 BOD 5mg/L				

一般財団法人 福岡県浄化槽協会 Fukuoka Johkasou Association

多くの人は蛇口をひねればきれいな水が使えることは当たり前だと思っ
ています。しかし、使い終
わって自分が汚した水の
行方について、心配する人
はあまり多くはないかも
しれません。海や川が汚れ
ているというニュースを
聞いたことはあると思
いますが、最近ではそれ
も少なくなってきたよう
に感じます。それは皆さ
ん一人ひとりの環境への
関心の高まりの表れで
はないでしょうか。



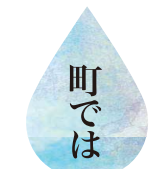
農業集落排水事業

町では、農業集落における農業用排水の水質保全及び環境衛生の向上を図るとともに、公共用水域の水質保全に寄与するため、農業集落排水事業を実施しています。

平成30年4月時点で、平成12年10月より供用開始した八ツ並・吉岡地区では、112戸が接続しており、平成16年4月に供用が開始された土佐井地区では143戸が接続しております。

町としては、少子高齢化社会を迎える将来に備え、事業の効率化を目指す一方、広報誌などを活用し、今後も継続して普及・啓発を推進していき加入率の向上を図ることで、豊かな自然環境を守り次の世代へと引き継いでいけるよう努めています。

また、近年稀にみる自然災害が全国で発生しており、これら自然災害への備えの重要性が再確認されているため、日常的に施設の点検整備を行っています。



浄化槽設置整備事業

町では、農業集落排水事業(八ツ並・吉岡・土佐井地区で実施)以外の地域では「浄化槽」による汚水処理を推進しています。

浄化槽とは家庭から出る生活雑排水(お風呂の水、洗濯の水、台所の水、トイレの水など)が生活する上で出る汚水のことを、各家庭に設置した浄化槽によって、きれいな水へと処理し、水路などを通じて最終的には河川から海へ流す仕組みのことです。

浄化槽を設置していない家庭では、トイレ以外の汚水は未処理のまま公共用水域へ流すことになり、例えば牛乳コップ一杯をそのまま台所に流した場合、魚が住める水質にもどすためにはお風呂の浴槽およそ10杯分のきれいな水が必要となります。また、浄化槽を設置することは環境への配慮の点からも望ましいことですが、トイレを水洗にすることで衛生的な生活ができることも大きな魅力の一つです。

なお、町では浄化槽を設置しようとする方に対し、その費用の一部を補助する制度を設けています。浄化槽の設置をご検討の方は、補助に関して諸条件がありますので、設置の前にご相談ください。



特集

まちづくりの現場から

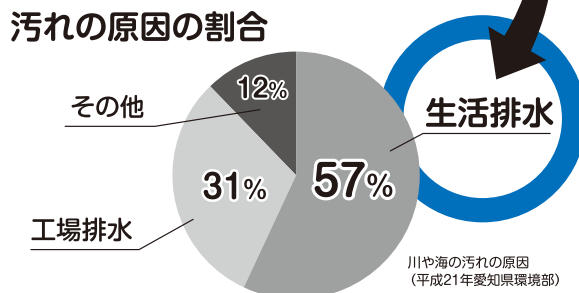
このコーナーは、九州一輝くまちづくりのため、上毛町第2次総合計画に掲げている事業のプロセスや課題などを紹介するものです。今月は、「汚水処理インフラ整備の取り組み」の特集です。

美しい水環境をはぐくむ町へ

豊かな自然環境を守り、次代を担う子どもたちへこのすばらしい財産を引き継ぐことは私たち一人ひとりの責任ではないでしょうか。

上毛町は、平成21年に「環境の町」宣言を行いました。これは、住民、事業者、自治体が一体となり、人と自然の共生する郷土を作るため、地球環境にやさしい地域づくりに取り組むことを目指したものです。近年、私たちの生活の様子は急速に変化し、より「便利」な時代へと移り代わっています。また、少子高齢化の波は、この上毛町も例外なく押し寄せてきており、豊かな里山の保全が難しくなりつつあるようにも感じています。これらの生活環境の変化に伴い、私たちの身の回りにおける生活雑排水の処理はより重要な課題となっています。

こうした状況の中、汚水処理の基本方針として福岡県は平成20年度に「福岡県汚水処理構想」を策定しましたが、全県域の汚水処理施設の整備の将来像として、各種汚水処理施設が持つ機能や地域ごとの特性に加えて、将来にわたって持続可能な運営を図るといった観点から現存施設の集約・広域化も視野に入れた福岡県汚



昔は工場などから出される排水が、水を汚す一番の原因になっていましたが、今では皆さんの家庭から出される排水が一番の原因になっています。

水処理構想をふくむお水環境ビジョンを平成29年3月に新たに策定しています。

一方、福岡県に先立ち上毛町では平成19年度に「上毛町汚水処理構想」が策定され、町域における処理区域の基本的線引きがなされ、集合処理に関しては主に農業集落排水事業による処理としていました。しかし、人口減少などの状況を勘案し、平成27年度に処理区域の見直しや整備手法、計画諸元(将来行政人口、計画人口、計画汚水量)、段階的整備方針の考え方をまとめ、「汚水処理構想」の見直しを行うことにより、より効果的に事業を進めていくこととなりました。